

研究に関するお知らせ

【研究課題名】

原発性気管支動脈蔓状血管腫に対する経動脈的塞栓術の後方視的研究

【研究の概要と目的】

原発性気管支動脈蔓状血管腫に対して経動脈的塞栓術を行ったのち、手技的成功率、肺動脈径の変化、術後の再発、症状の再発を評価します。また、手技中の合併症についても評価します。

原発性気管支動脈蔓状血管腫の治療法としては、気管支動脈塞栓術や肺葉切除・肺区域切除・気管支動脈結紮術などが行われています。外科手術は侵襲が高く、死亡例の報告もあります。現在、気管支動脈塞栓術は侵襲が少なく第一選択とされていますが、その、有用性および安全性を検討した報告はなく、本疾患の治療指針を提言できる可能性があります。

【本研究の対象・方法】

本研究は、2007年6月から2017年3月の間に、原発性気管支動脈蔓状血管腫に対して経動脈的塞栓術を施行した患者を対象とし、手技的成功率、肺動脈径の変化、術後の再発、症状の再発を評価します。また、手技中の合併症についても評価を行います。

試料や情報の種目、それらを採取する時期、方法：倫理委員会承認が得られたのち、当院 PACS を用いて画像データより情報を収集します。

データ収集は1か月以内にて速やかに終了する予定です。収集する項目は通常の診療範囲内で収集する項目：年齢・性別、および症状再発の有無、合併症の有無、塞栓物質、肺動脈径です。

【研究機関】

熊本大学医学部附属病院画像診断・治療科

【個人情報の取り扱い】

研究結果は、学会・学術雑誌等を通じて発表する場合がありますが、その際、患者様の名前・住所など個人を特定できるような情報は一切含まれません。

【本研究への参加と撤回の自由】

本研究のための患者様への費用の負担はありません。また、研究の対象となる患者様への謝金もありません。

本研究への参加は、患者様の意思で決めていただきますが、たとえ参加を拒否されても患者様へ不利益は生じません。また同意された後でもそれを撤回することができ、それによって不利益を被ることも一切ありません。

【問い合わせ先】

研究担当者：熊本大学医学部附属病院 画像診断・治療科 池田 理

住所：熊本市中央区本荘1丁目1-1 電話：096-373-5261